

平成27年度 関東高等学校男子バスケットボール大会  
兼 第69回 関東高等学校男子バスケットボール選手権大会  
＜準決勝＞

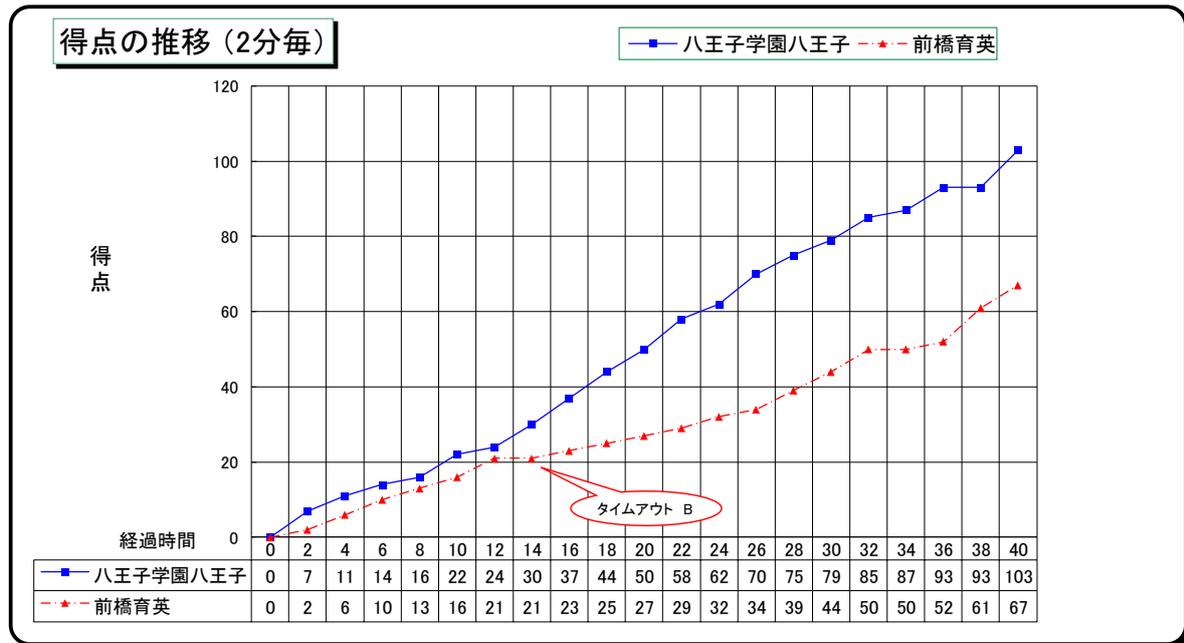
平成27年 5月31日(日)	ひたちなか市総合運動公園総合体育館	大会2日目	Aコート	第2試合 11:00～													
<b>&lt;チームA&gt;</b> <b>八王子学園八王子</b> 東京		103 <table style="display: inline-table; vertical-align: middle;"> <tr><td>22</td><td>1Q</td><td>16</td></tr> <tr><td>28</td><td>2Q</td><td>11</td></tr> <tr><td>29</td><td>3Q</td><td>17</td></tr> <tr><td>24</td><td>4Q</td><td>23</td></tr> </table>	22	1Q	16	28	2Q	11	29	3Q	17	24	4Q	23	<b>&lt;チームB&gt;</b> <b>前橋育英</b> 群馬		
22	1Q	16															
28	2Q	11															
29	3Q	17															
24	4Q	23															

主審：稲葉 威(本部)      第1副審：久保 知仁(千葉)      第2副審：一色 渉(茨城)

S	No	選手名	得点	3P	2P	FT	Foul
◎	4	新屋 広晃	24	2	8	2	
◎	5	布田 南樹	12		6		2
◎	6	竹村 龍	5	1	1		
◎	7	ドウドウ ゲイ	20		9	2	2
◎	8	多田 武史	16	2	4	2	3
○	9	上地 輝斗					
○	10	吉田 麟太郎	4		2		
○	11	佐藤 杏樹	2			2	1
○	12	斎藤 大海					
○	13	川村 僚	4		2		1
○	14	佐村 直紀					1
○	15	伊地知 大智	2		1		1
○	16	根本 拓真	2		1		
○	17	黒谷 瑛太郎	4		2		
○	18	オト 輝恵	8		4		1
コーチ		石川 淳一					
合計			103	5	40	8	12

S	No	選手名	得点	3P	2P	FT	Foul
◎	4	酒井 達也	21	2	5	5	2
◎	5	櫻井 啓翔	6		3		1
◎	6	鎌田 菫之介	6		3		3
◎	7	渡部 豊	3	1			
○	8	萩原 皓介	4		1	2	
○	9	鎌田 隼人	2		1		1
○	10	大谷 恭平	5		2	1	1
○	11	高橋 伸吾					
○	12	柴多 亮	2		1		1
◎	13	星野 代朔					1
○	14	長谷川 明輝	4		2		1
○	15	田中 城	2		1		1
○	16	瀧 稜太					
○	17	相川 勇樹	2		1		1
○	18	大山 将平	10	2	2		1
コーチ		加賀谷 寿					
合計			67	5	22	8	14

◎:スターター / ○:出場 / 3P:3点シュート(本数) / 2P:2点シュート(本数) / FT:フリースロー(本数) / Foul:パーソナルファウル



戦評 記入者： 木曾 尚樹

第1P、八王子は2-3ゾーン、前橋育英はハーフコートマンツーマンでゲームスタート。八王子は⑦ドウドウのディフェンスリバウンドから、⑧多田の3pや④新屋のドライブインで得点する。一方、前橋育英は④酒井のシュートで得点。一進一退の攻防が続く。(11-8)。残り2分となり、八王子の⑦ドウドウのゴール下を中心とした攻めで八王子3点リードとなる(16-13)。その後両チーム得点を重ね、前橋育英④酒井の3pがブザーと同時に決まり第1P終了(22-16)。

第2P、前橋育英は八王子の高さを意識してなかなか得点することができない。一方、八王子も前橋育英の激しいディフェンスにミスが起きる。そんな中、前橋育英の④酒井の3pで点差を縮める(24-21)。残り6分、八王子がディフェンスリバウンドからの速攻、④新屋のドライブインなどで点差を広げる中、八王子の激しいボールプレッシャーを受けて、前橋育英にバックパスが起きる。前橋育英はすかさずタイムアウト。しかし、八王子の高さのある2-3ゾーンを崩すことができず流れが変わらない。その後、八王子は④新屋、⑧多田の3pなどで点差を広げて前半を折り返す(41-25)。

第3P、両チームともにディフェンスを変えずにスタート。残り7分、八王子は確実にディフェンスリバウンドを取り、速攻を決め点差を広げる。前橋育英も巧みにメンバーチェンジをし、⑩大山の3pなどで追い上げを図るがなかなか流れが変わらない(60-29)。残り4分となり、八王子は控えメンバーを出場させながらの展開となる。一方、前橋育英はディフェンスでボールマンプレッシャーを強め、⑥鎌田のリバウンドシュートで得点を重ね第3Pを終了する(79-44)。

第4P、両チームともに控えのメンバーを出場させる展開となる。前橋育英はオールコートマンツーマン、ハーフコートではプレッシャーを強め、⑦相川のシュートなどで反撃をする。しかし、八王子はボール運びを確実にし得点へ繋げる(85-50)。その後、八王子は⑦黒谷、⑩オトなどが、前橋育英は⑭長谷川、⑩大谷などが得点を重ね試合終了(103-67)。終始八王子のシュート力、またディフェンスリバウンドからの速攻などの走りが光った試合となった。